



HDC ニュースレター (報告版)

Feb 2023 第5号

一般社団法人 全国在宅療養支援歯科診療所連絡会

<https://www.hdc-2017.com/>

この号の内容

- 1 HDC 講演会
- 2 HDC からお知らせ
- 3 他団体からのお知らせ

1、在宅歯科医療講演会

新型コロナウイルス感染症の流行が続いているなかWEBセミナー、WEB学術集会など、インターネットを通じて多くの勉強会が開催されています。当連絡会でも会員の皆様の日々の診療に役立つよう、新しい学びの場として本講演会をWEB開催いたします。

会員の皆様は無料でご覧いただけます。参加をご検討いただきますとともに、周囲に興味をお持ちの方がおられましたら、当講演会をご紹介いただくと幸いです。
よろしく願い申し上げます。

開催名：在宅歯科医療講演会 暮らしと生きがいを支える食支援

主催：一般社団法人全国在宅 療養支援歯科診療所連絡会

後援：一般社団法人日本在宅ケアアライアンス

開催日時：令和4年3月5日（日）

講演形態：Zoomを利用したWEB配信 (ZOOM ウェビナーを使用)

【参加費】

会 員：無 料

非会員：歯科医師・医師：5,000円 歯科衛生士その他関連職種：2,000円

会員・非会員いずれも参加をご希望の方は下記URLあるいはQRコードより参加登録お願いいたします。

URL：<https://bit.ly/3ZP9MrP>

申込締切：3月3日（金）正午まで

zoomの招待アドレスは申し込み後連絡します。

非会員の方の参加費の支払いについては後日連絡いたします。



【プログラム】

会長挨拶：13:00~13:05

講演①：13:05~13:50

講師：武田俊彦（日本在宅ケアアライアンス副理事長、元厚生労働省医政局局長）

演題名：薬から食へ～これからの在宅ケアに必要な視点～

講演②：13:55~14:40

講師：菊谷 武（日本歯科大学教授、日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック院長）

演題名：地域における食支援～食べるを支える、食べられないを支える～

対談：14:45~15:00

武田俊彦先生 菊谷武先生

食支援に関する幅広い職種の視点からの考え方を理解し、歯科の役割を再認識する。

座長：三木次郎、大友文雄

【お問合せ先】 E-mail：kouku-care-renrakukai@jcom.home.ne.jp

菊谷先生抄録 食べるを支える、食べられないを支える

「食べることは生きること」という言葉をよく耳にします。なぜならば、食べないことは死を意味することだからです。ただし、この「生きる」という言葉が、単に生物学的な生命を表しているだけではなく、その人の人生であったりや、生活であったりするなどの意味を含んでいる言葉であることは、言うまでもありません。だからこそ、どんな状況になっても、食べることはその人間の尊厳を守り、その人を取り巻く人すべて人の喜びにつながります。

「最後まで食べた」という記憶は、残された家族に良い思い出として残り続けます。この記憶は、看取った後に訪れる悲しみを和らげます。一方で、なぜ、食べてはいけられなかったのか、他に方法はなかったのか、といった思いが残ったまま看取ってしまった場合には、悲しみの和らぎを妨げますや後悔が残ります。

年を重ねるとあらゆる機能が徐々に低下していき終末期を迎えます。今日より明日、今月より来月、今年より来年、この傾きのなかで、できることが少なくなってくるはずです。すなわち、徐々に食べられなくなることは、ある意味自然な流れであるということが理解できます。私たちが、人生の最終段階において食べる支援をするときは、この「傾き」に対する考慮が必要となってきます。神様は、人間の命を50歳までと見積もり設計したと言われていています。それ以降の人生は、年を重ねるに伴って変化する機能を受け入れながら、さまざまな工夫をすることで、その生涯を過ごしているとも言えます。だからこそ、「傾き」に考慮した「工夫」が求められることとなります。

確かに、人は食べないと死んでしまいます。しかし、死が近いから食べないのだと考えると違った世界が見えてきます。死を遠ざけるために、頑張って食べてもらう。頑張っても十分な栄養が摂れないときは経管栄養で補充する。こんな考えがこれまでの主流だったかもしれません。「傾き」を受け入れ、死が近いということを受け入れることができれば、無理のない範囲で、「食べられるだけ食べる」という考えも正解かもしれません。

人生の最終段階における「食べること」の支援は、達成感のある看取りへの手助けになるといえます。私たちはその支援者となり、人生の総仕上げに立ち会うことになるのです。

署名 HDC会長 三木次郎

訪問歯科衛生士育成事業 中級編

2023年 2月26日 日曜日 13:00~14:30

Zoom 開催

先着 100名様

締め切り 2月22日

参加資格 会員・非会員

申し込みはQRコードから あるいは

下記明記の上事務局へ申し込みください

(氏名、メールアドレス、所属、職種、会員・非会員の区別)

事務局: kouku-care-renrakukai@jcom.home.ne.jp



ニュースレター 『トピックス臨床のヒント』

No.2 となる、2023年1月号をHPに掲載しています、ぜひご覧ください。

<https://www.hdc-2017.com/newsjinzai.html>

※ 私の地域での『口腔ケア活動・食支援体制・認知症対応・医療的ケア児への対応・多職種連携システム』等多岐にわたる臨床コラムを提供いたします。

HDC会員の皆様も投稿自由です（エビデンス不要の臨床経験）ので、ご興味があれば事務局までご連絡ください

会員 廣瀬知二先生よりの情報提供

第49回北地区・北九州歯科医学会

令和5年2月20日(月)～3月6日(月)

今こそ見直そうパーシャルデンチャー!

～基本的な診断・設計から応用編まで～

第1部 パーシャルデンチャーの勘どころ ～欠損の進行と鉤歯の形態

～医療法人 仁昇会 わたなべ歯科 院長 日本顎咬合学会 九州沖縄支部長 渡辺祐康

第2部 歯科技工士会共催講演 手間をかけずにクオリティーの高い義歯作り

歯科技工士 吉田衛司

第3部 歯科衛生士会共催講演 嚥下機能が低下した高齢者への補綴的アプローチ

伊東歯科口腔病院 訪問診療部長 廣瀬 知二

参加費:無料 YouTubeを活用したオンデマンド配信

配信開始日の前日までに視聴用URLをお送ります。

締め切りは3/6 12:00です

申込先 <https://forms.gle/XgkwopwNA1uBbgXS9>

主催 一般社団法人北九州市歯科医師会、福岡県北地区歯科医師会連絡協議

以上詳細は<http://kitaq-da.or.jp/newsrepo/files/f63b4c4d85bd16.pdf> をご覧ください

3、他団体からの情報提供

【第三回岐阜県多“食”種連携研究会】

2023年5月14日（日）9：30～14：40

開催：ハイブリッド形式 朝日大学医科歯科医療センター及びWeb配信

参加費：1000円

申込URL：

https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02mm4mix8fr21.html?cpt_s=official&cpt_m=offline&cpt_n=common

第1部：一般公演 地域と繋がれ！岐阜県多“食”種連携

- 1) 茨木あづさ（訪問看護ステーション街家代表取締役）
- 2) 大森智史（セイヨウトレーディング取締役エース薬局船附店薬局長）
- 3) 安達智紀（岐阜市介護支援専門員連絡協議会会長・事務局長）
- 4) 小林一元（宅配123本部家具株式会社シニアライフクリエイト）

座長：国枝颯二郎（岐阜大学病院脳神経内科）・合掌かおり（総合在宅医療クリニック）

第2部：特別公演 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際

戸原 玄 東京医科歯科大学教授・全国在宅療養支援歯科診療所連絡会理事

座長：市橋亮一（総合在宅医療クリニック）

岐阜県多“食”種連携研究会代表世話人 谷口裕重



一般社団法人

全国在宅療養支援歯科診療所連絡会

〒277-0072

千葉県柏市つくしが丘 5-7-29

大石歯科医院内連絡会サポートセンター

電話番号:04-7176-2220

FAX 番号:04-7176-2220

電子メール: kouku-care-renrakukai@jcom.home.ne.jp